

# 知的障害者の障害の程度

## 1 知的障害者 障害の程度による療育手帳の区分表

区 分	身 体 障 害				備 考
	重 度 (1, 2級)	中 度 (3, 4級)	軽 度 (5, 6級)	な し	
知的 障 害	重 度 (IQ35以下)	A1			「身体障害」欄の( )内の数字は、身体障害者福祉法に基づく障害等級である。
	中 度 (IQ36～50)	A2	B1		
	軽 度 (IQ51～75)	B2			

- ・A1・・・重度の知的障害 (IQ35以下)
- ・A2・・・中度の知的障害 (IQ36～50) であって、3級以上の身体障害を合併している者
- ・B1・・・中度の知的障害 (IQ36～50)
- ・B2・・・軽度の知的障害 (IQ51～75)

## 2 発達障害の程度の指標 (厚生労働省の知的障害者実態調査 (1975) における知的障害の程度に関する判定資料)

階段	軽 度	中 度	重 度	最 重 度
5歳以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常会話はどうにかできる</li> <li>・数の理解はすこし遅れている</li> <li>・運動機能の目立った遅れは見られない</li> <li>・身のまわりの始末は代替できるが不完全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語による意思表示はいくらかできる</li> <li>・数の理解に乏しい</li> <li>・運動機能の遅れが目立つ</li> <li>・身のまわりの始末は部分的に可能</li> <li>・集団遊びは困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばがごく少なく意思の表示は身振りなどで示す</li> <li>・ある程度の感情表現はできる(笑ったり、怒ったり等)</li> <li>・運動機能の発達の遅れが著しい</li> <li>・身のまわりの始末はほとんど出来ない</li> <li>・集団遊びは出来ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語不能</li> <li>・最小限の感情表示(快、不快等)</li> <li>・歩行が不能又はそれに近い</li> <li>・食事、衣服の着脱などはまったくできない</li> </ul>
6歳から11歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通の学級における学習活動についていくことは難しい</li> <li>・身辺処理は大体できる</li> <li>・比較的遠距離でも一人で通学できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常会話はある程度可能</li> <li>・数の理解が身につき始める</li> <li>・身辺処理は大体できるが不完全</li> <li>・ゲーム遊びなどの集団行動はある程度可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語による意思表示はある程度可能</li> <li>・読み書きの学習は困難である</li> <li>・数の理解に乏しい</li> <li>・身近なものの認知や区別はできる</li> <li>・身辺処理は部分的に可能</li> <li>・身近な人と遊ぶことはできるが長続きしない</li> <li>・ごく簡単なお手伝いはできる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語は数語のみ</li> <li>・数はほとんど理解できない</li> <li>・食事、衣服の着脱など一人ではほとんどできない</li> <li>・一人遊びが多い</li> </ul>
12歳～17歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3～4年生程度の学力にとどまる</li> <li>・抽象的思考や合理的判断に欠ける</li> <li>・身辺処理は普通児並にできる</li> <li>・基本的な作業訓練は可能である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校2～3年生程度の学力にとどまる</li> <li>・身辺処理は大体できる</li> <li>・簡単なゲームのきまりを理解する</li> <li>・単純な作業に参加できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常会話はある程度できる</li> <li>・ひらがなはどうにか読み書きできる</li> <li>・数量処理は困難</li> <li>・身辺処理は大体できる</li> <li>・単純作業にある程度従事できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話は困難</li> <li>・文字の読み書きはできない</li> <li>・数の理解はほとんどできない</li> <li>・身辺処理はほとんど不可能</li> <li>・作業能力はほとんどない</li> </ul>
18歳以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5～6年生程度の学力にとどまる</li> <li>・抽象的思考や合理的判断に乏しい</li> <li>・事態の変化に適應する能力は弱い</li> <li>・職業生活はほぼ可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な読み書きや金銭の計画ならはできる</li> <li>・適切な指導のもとでは対人関係や集団参加がある程度可能</li> <li>・単純作業に従事できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常会話はある程度できる</li> <li>・ひらがなはどうにか読み書きできる</li> <li>・数量処理は困難</li> <li>・身辺処理は大体できる</li> <li>・単純作業にある程度従事できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話は困難</li> <li>・文字の読み書きはできない</li> <li>・数の理解はほとんどできない</li> <li>・身辺処理はほとんど不可能</li> <li>・作業能力はほとんどない</li> </ul>
標準化されたテストによる指数 (IQ, SQ, DQ)	75	50	35	20

(注) 1 「5歳以下」の欄は、オオムネ4～5歳児の発達障害を示したものであり、それ以下の年齢についてはこれと年齢相応の発達の程度を参考にして判定すること。

2 「標準化されたテストによる指数」欄の数と斜線は「おおむね」の意味をもつ。